

SharpShooter Reports.Win

基本的な使い方

Last modified on: November 15, 2012

※本ドキュメント内のスクリーンショットは英語表記ですが SharpShooter Reports JP(日本語版)では日本語で表示されます。



目次

はじめに	3
システムの必要条件.....	4
ライセンス認証.....	4
アクティベーション.....	6
開発	7
手順 1. アプリケーションの作成.....	7
手順 2. データソースの作成と代入.....	7
手順 3. テンプレートの作成.....	11
手順 4. レポートビューアの追加.....	16
手順 5. ライセンス ファイルの編集.....	18



はじめに

このユーザーガイドでは、SharpShooter Reports.Win を使った一般的なレポートテンプレートの作成方法を説明します。

このユーザーガイドは、SharpShooter Reports.Win のユーザーのために用意されたものです。



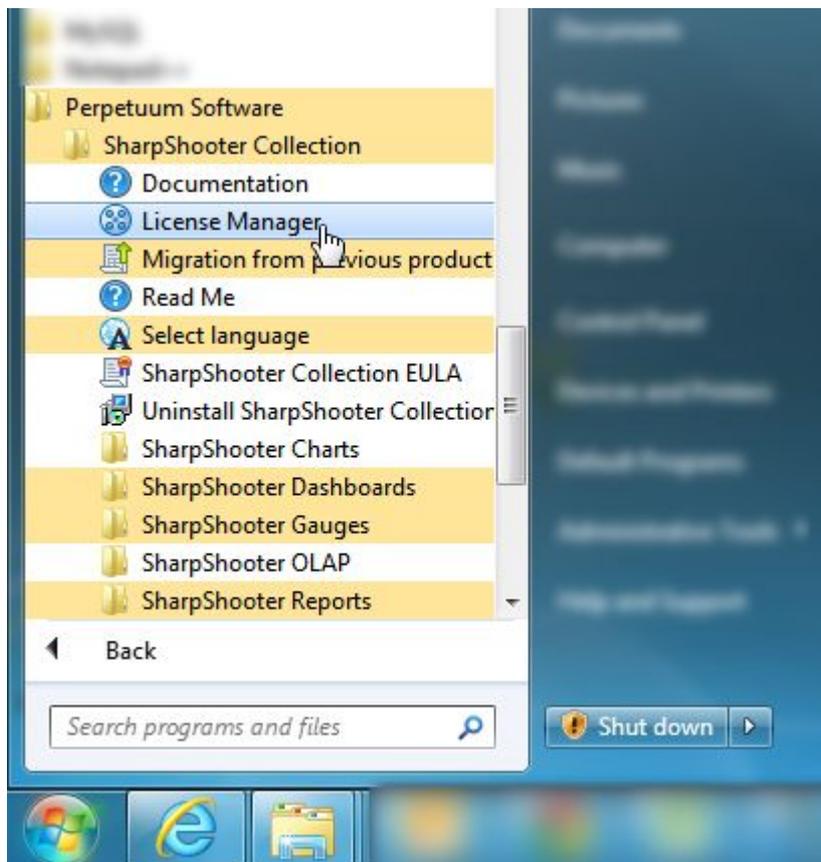
システムの必要条件

Win フォーム アプリケーションで SharpShooter Reports.Win を使用するには以下が必要です。

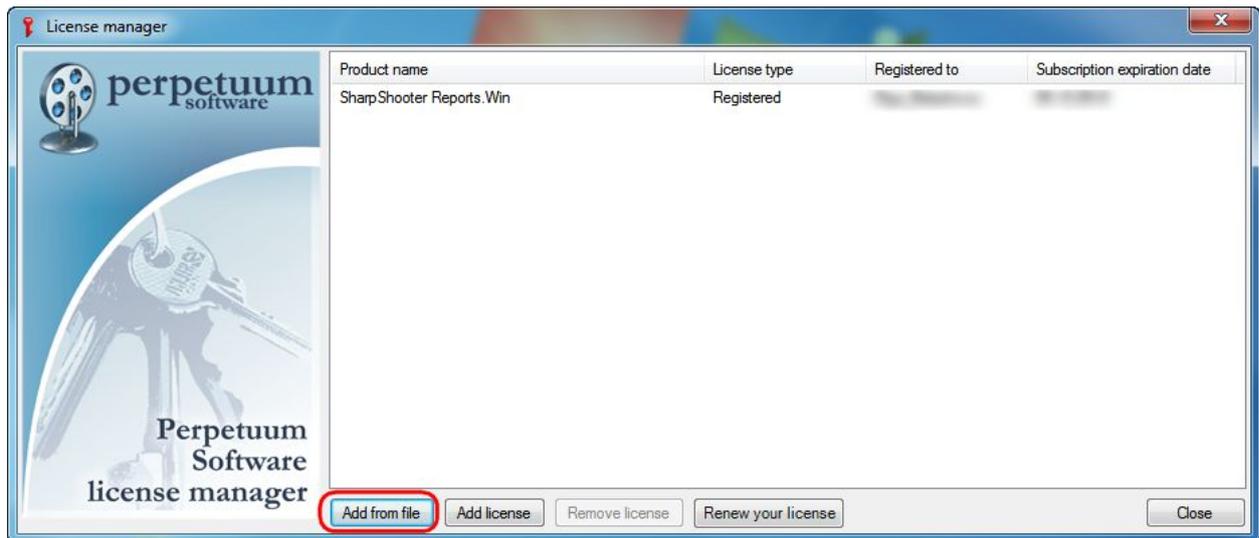
- .NET Framework 2.0, 3.5 または 4.0
- Visual Studio 2005/2008/2010

ライセンス認証

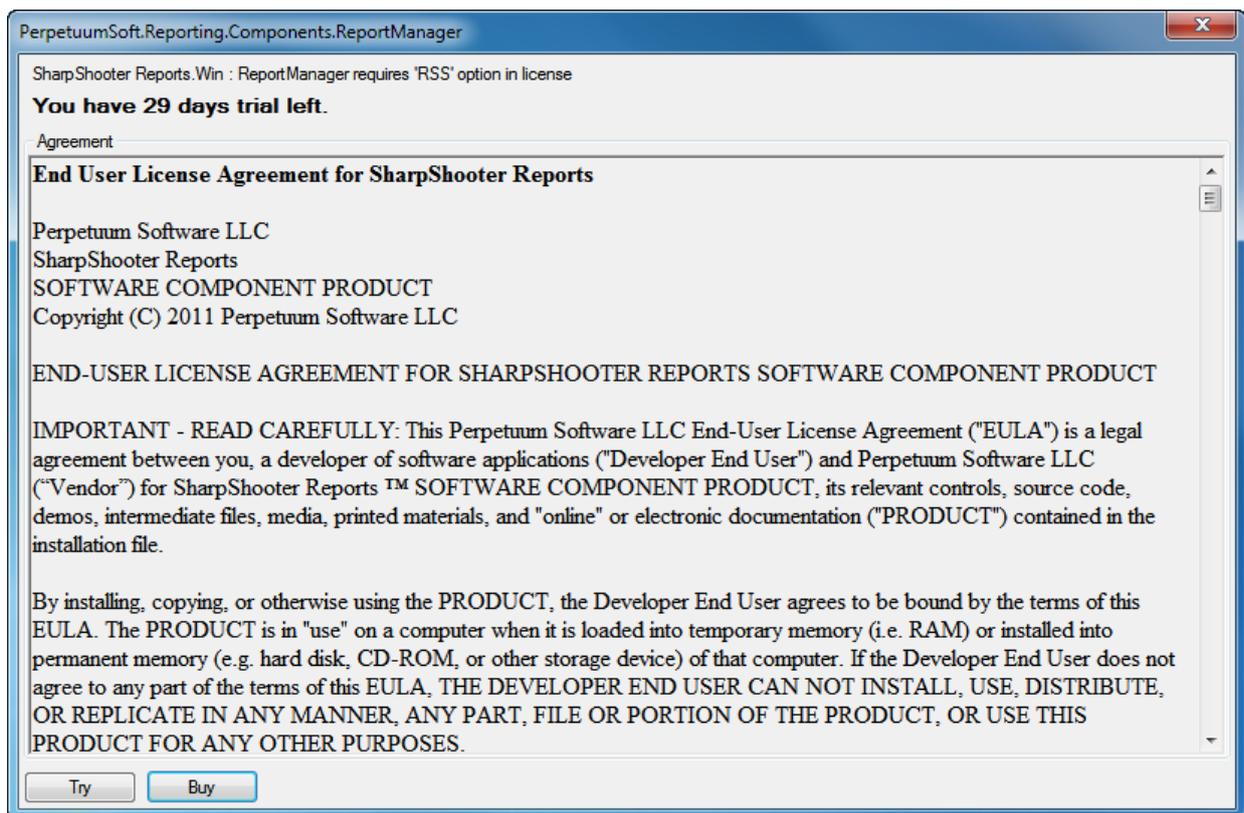
ライセンスを入手されましたら、[スタート]メニューからライセンス マネージャを起動してライセンスをインストールしてください。



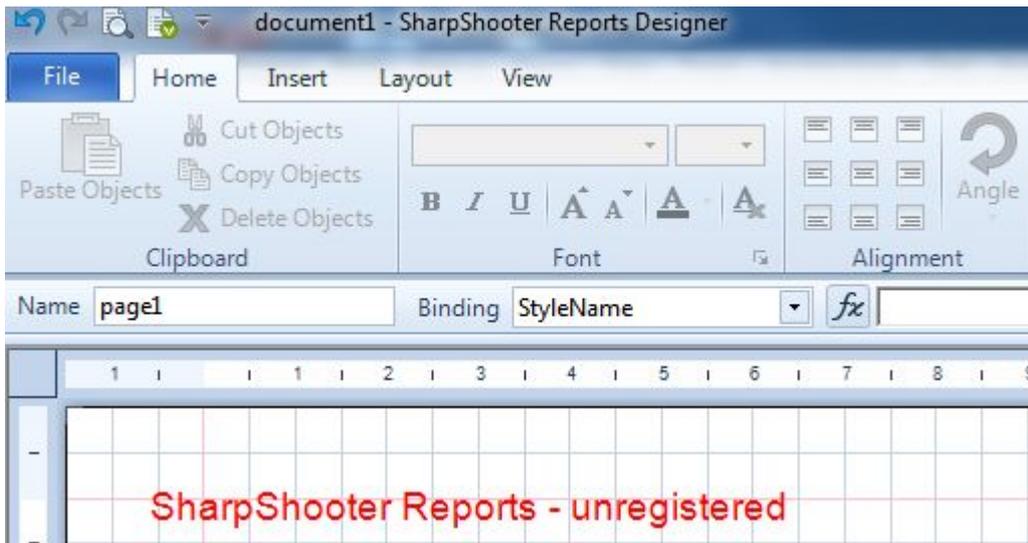
ライセンスを追加するには、「ファイルから追加」ボタンをクリックし、ダウンロードした「*.Elic」ファイルを選択し、「閉じる」ボタンを押してライセンス マネージャを閉じます。



ライセンスがないと、Perpetuum Software コンポーネントの使用中に「体験版」を表すポップアップダイアログが表示されます。



デザイナーでの作業中に透かしが表示されます。



アクティベーション

SharpShooter 製品を一度もお使いになったことがない場合は、最初の起動時に本ソフトウェアのアクティベーションが必要となります。本製品のアクティベーションを行うには、表示されたウィンドウにお客様のお名前と Email をご入力ください。

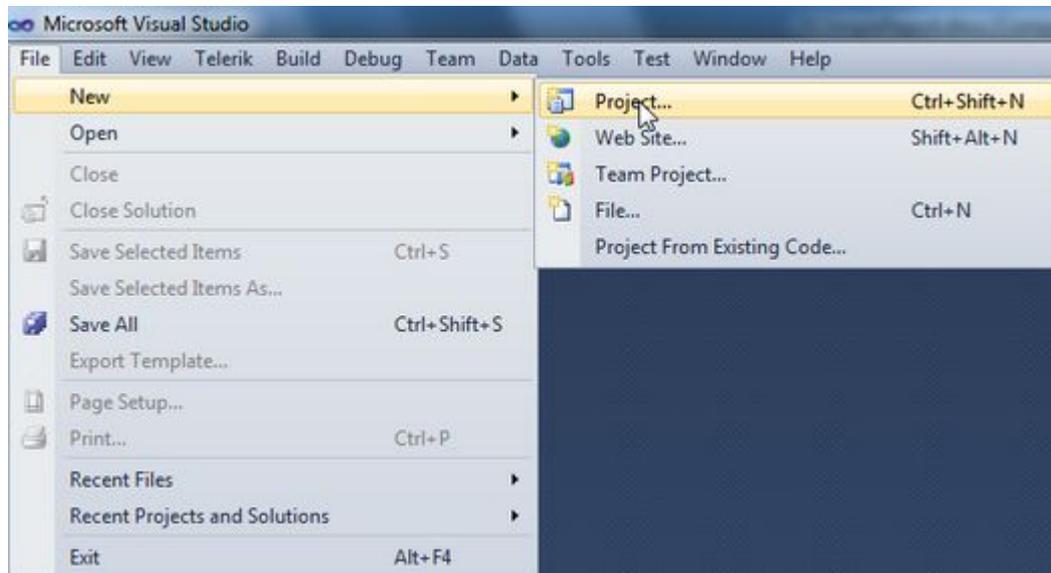
アクティベーションのフォームが入力されると本製品のアクティベーションは完了し、お使いいただけるようになります。



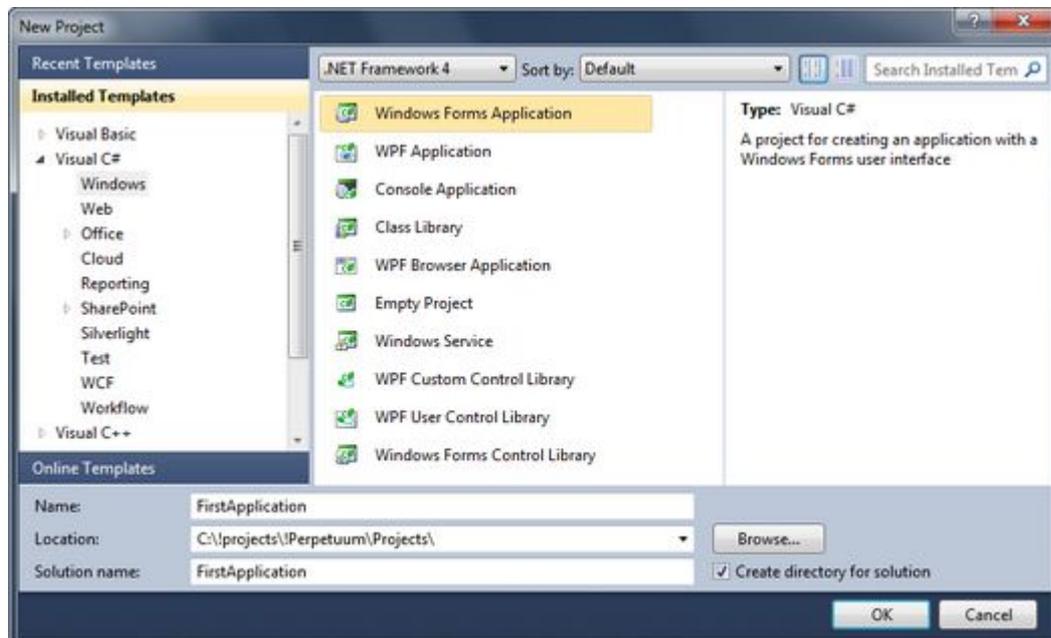
開発

手順 1. アプリケーションの作成

Microsoft Visual Studio で新しいプロジェクトを作成します。メインメニューから[ファイル/新しいプロジェクト]を選択します。

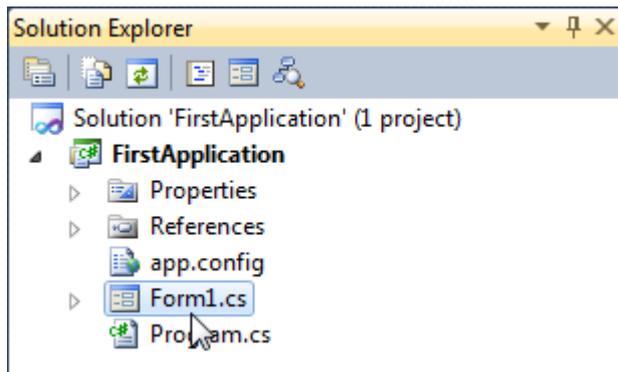


「Windows アプリケーション」を選択し、プロジェクト名を設定し、プロジェクトを保存するフォルダを指定して「OK」ボタンをクリックします。

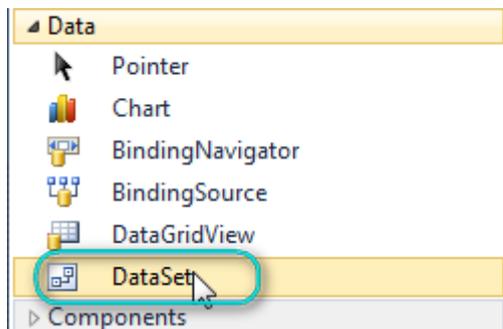


手順 2. データソースの作成と代入

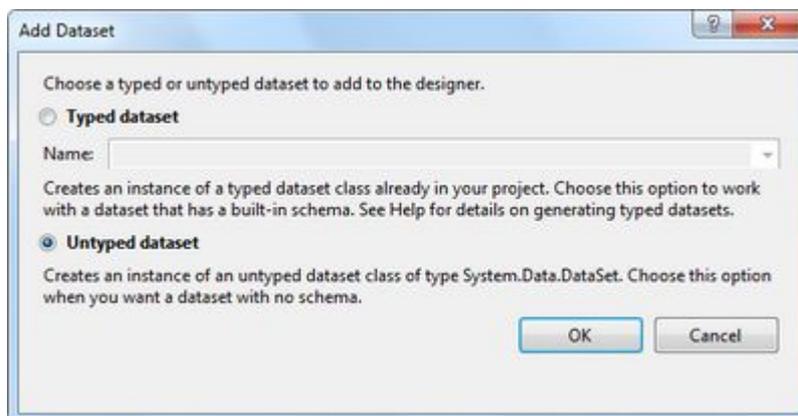
ソリューション エクスプローラの Form1.cs をダブルクリックしてエディタのウィンドウにアプリケーションのメインフォームを開きます。



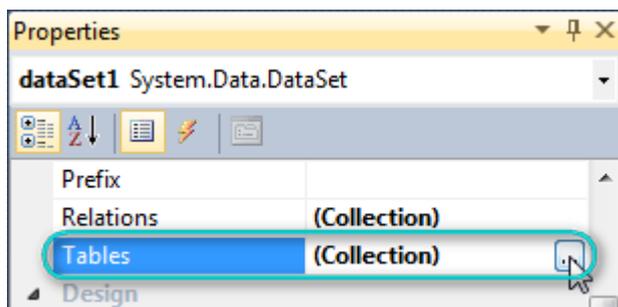
DataSet を使用してデータ構造を設定します。ツールボックスから DataSet をダブルクリックして追加します。



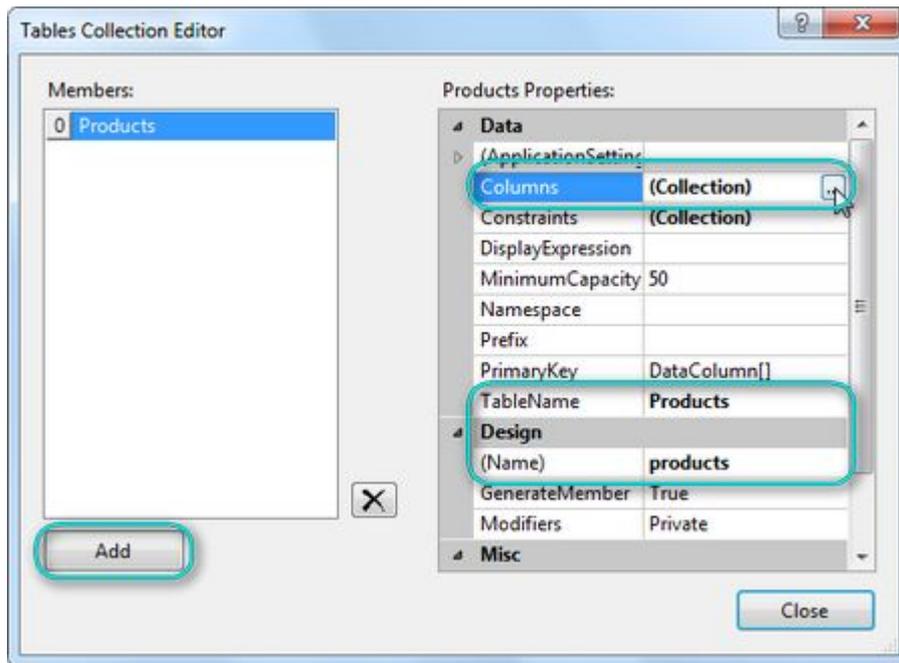
「型指定のないデータセット」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



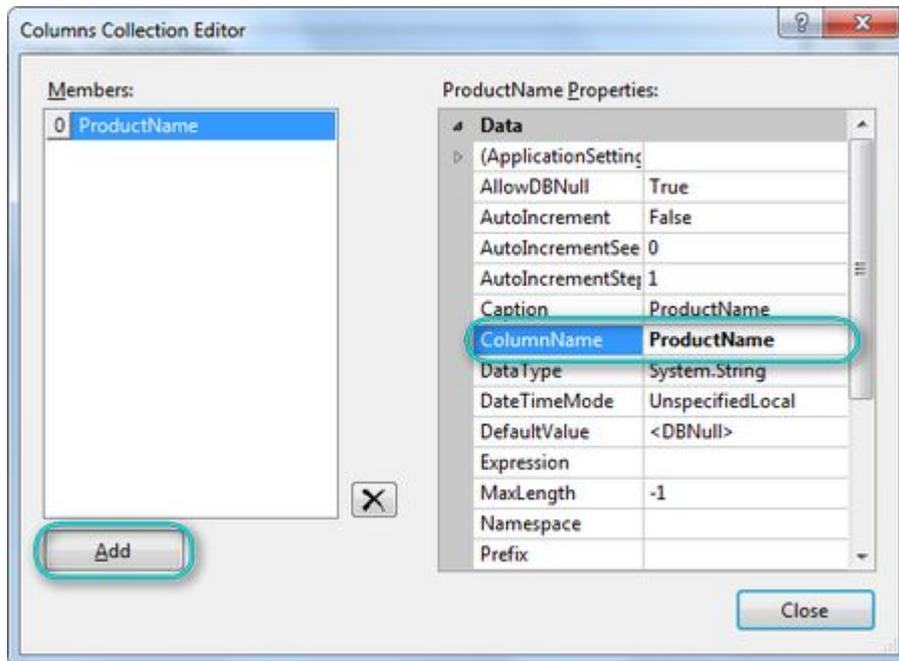
フォームのエディタで dataSet1 コンポーネントを選択し、プロパティグリッドの Tables プロパティのボタンをクリックしてテーブルコレクションエディタを開きます。



「追加」ボタンをクリックしてテーブルを追加し、TableName プロパティと Name プロパティを「Products」に設定します。

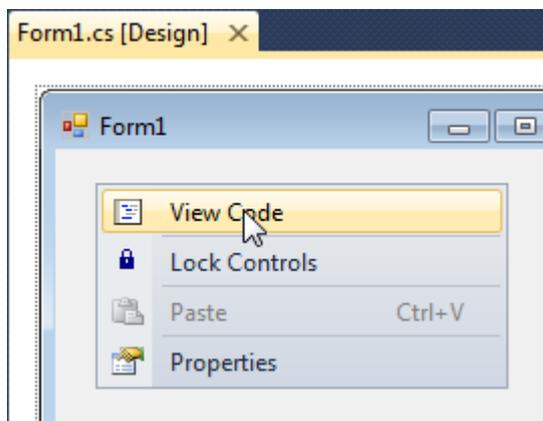


Columns プロパティのボタンをクリックして列コレクションエディタを開きます。「追加」ボタンをクリックして新しい列を追加し、*ColumnName* プロパティを「ProductName」に設定します。



エディタを閉じます。

フォームを右クリックし、コンテキストメニューから[コードの表示]を選択してコードを表示します。



データソースを代入するには、`LoadData` メソッドを記述します。

```
public void LoadData()
{
    DataRow row = products.NewRow();
    row["ProductName"] = "SharpShooter Reports.Win";
    products.Rows.Add(row);
    row = products.NewRow();
    row["ProductName"] = "SharpShooter Reports.Web";
    products.Rows.Add(row);
    row = products.NewRow();
    row["ProductName"] = "SharpShooter Reports.Silverlight";
    products.Rows.Add(row);
    row = products.NewRow();
    row["ProductName"] = "SharpShooter Reports.WPF";
    products.Rows.Add(row);
}
```

```
row = products.NewRow();  
row["ProductName"] = "SharpShooter OLAP";  
products.Rows.Add(row);  
row = products.NewRow();  
row["ProductName"] = "SharpShooter Gauges";  
products.Rows.Add(row);  
row = products.NewRow();  
row["ProductName"] = "SharpShooter Dashboards";  
products.Rows.Add(row);  
}
```

手順 3. テンプレートの作成

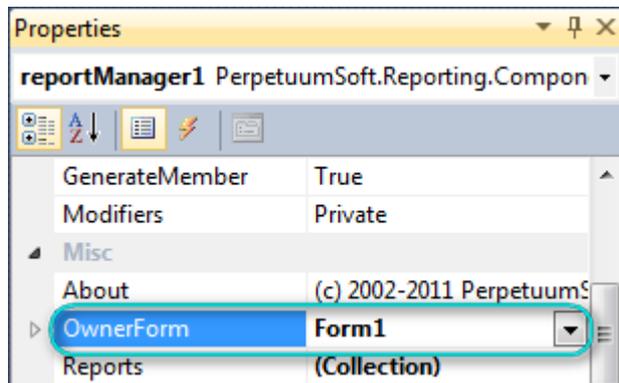
アプリケーションのフォームに戻ります。

ツールボックスから「ReportManager」コンポーネントを追加します。



このコンポーネントはウィンドウ下部に表示されます。

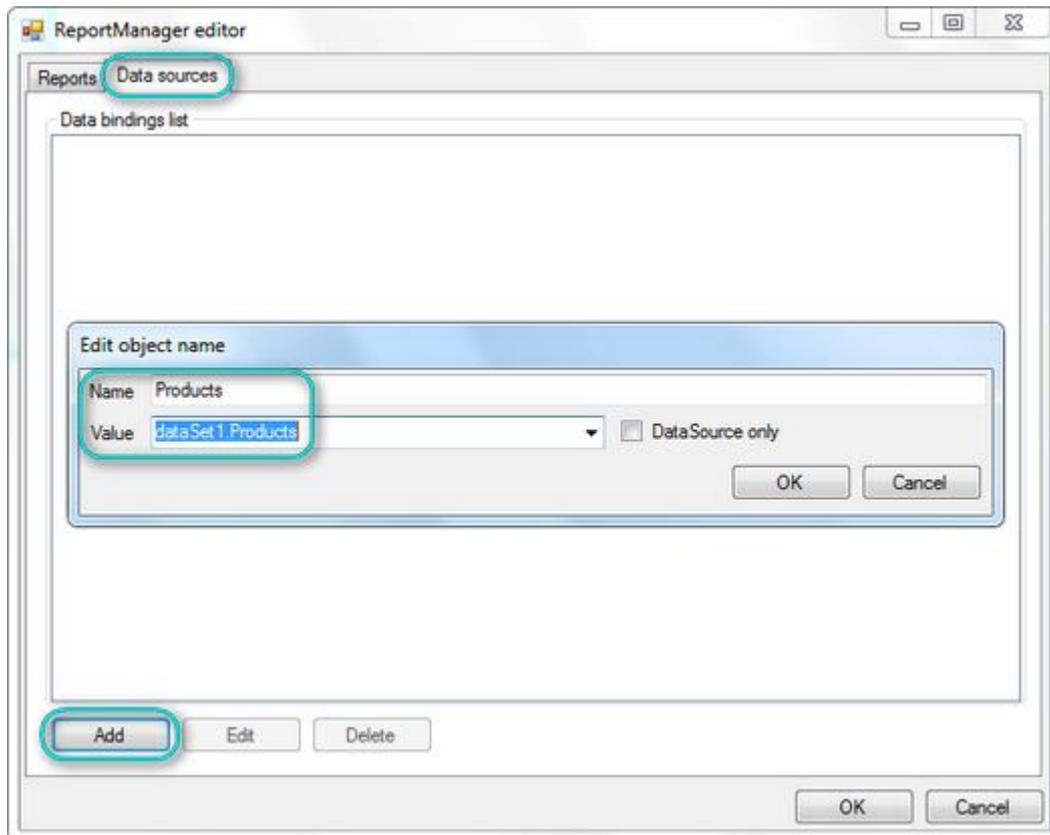
ReportManager の *OwnerForm* プロパティを「Form1」（レポートマネージャが張り付けられているフォーム）に設定します。



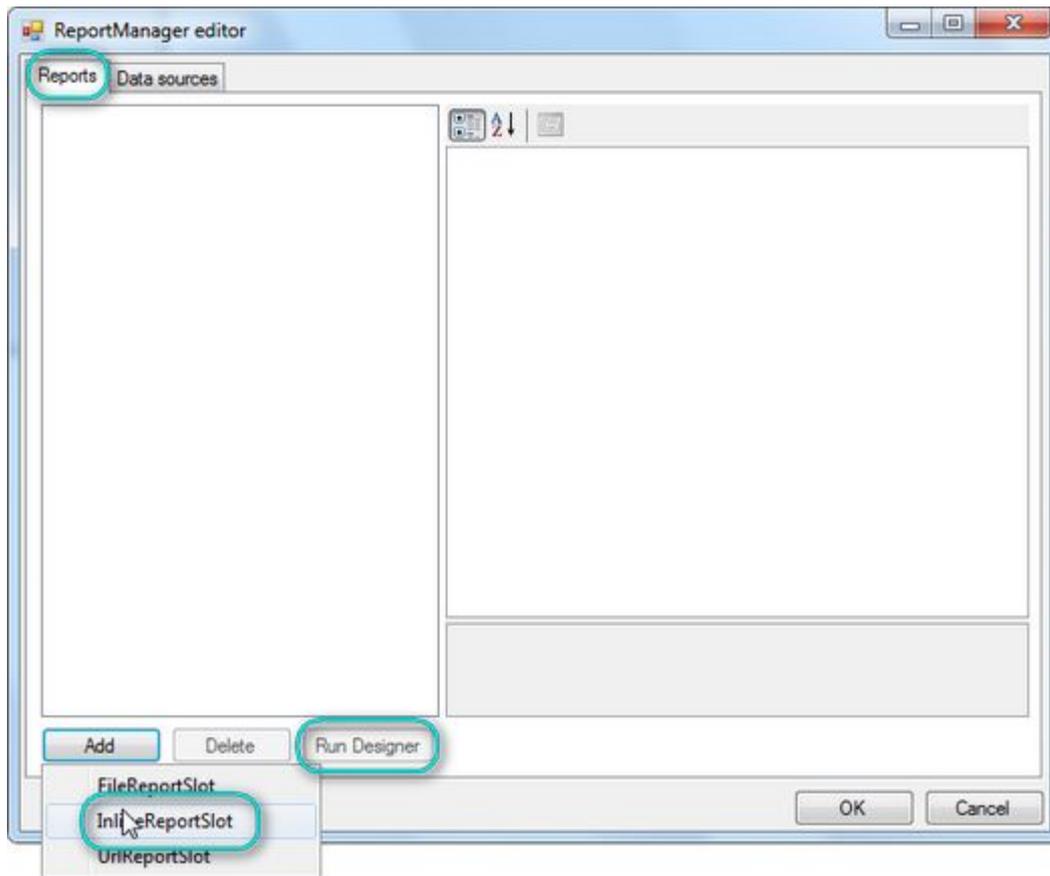
ReportManager コンポーネントをダブルクリックして、レポートマネージャのエディタを開きます。



「データソース」タブに行き、「追加」ボタンをクリックします。データソース名を「Products」に設定し、値フィールドから「dataSet1.Products」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

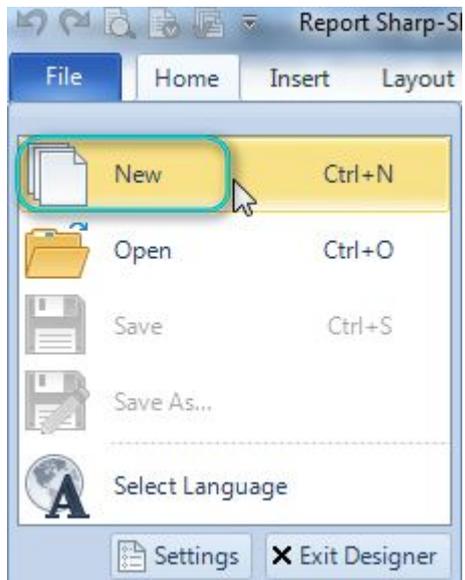


「レポート」タブに行き、「追加」ボタンを押して「InlineReportSlot」を選択します。



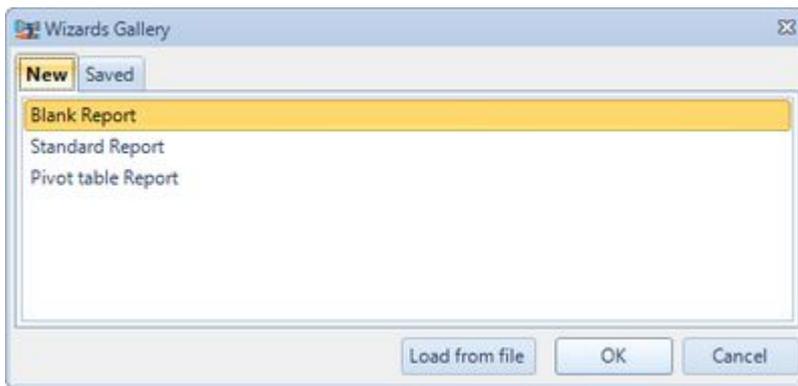
「デザイナーの起動」ボタンをクリックしてテンプレートを作成します。

アプリケーションのメニューから「新規」を選択して、新規の空のテンプレートを作成します。

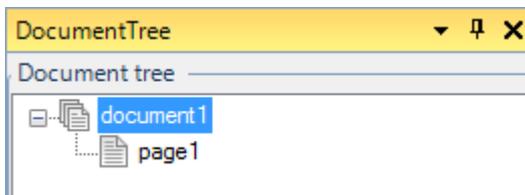




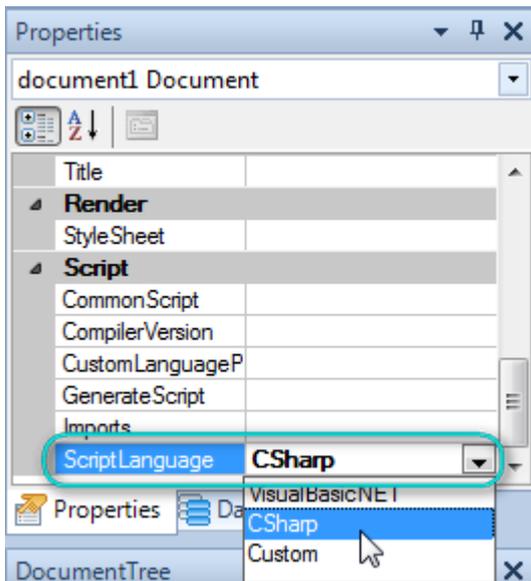
ウィザードギャラリーから「白紙」を選択し、OK ボタンを押します。



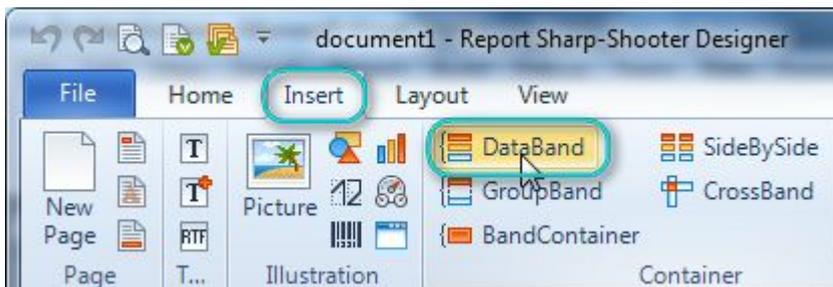
ドキュメントツリーまたはクイックアクセスツールバーの「ドキュメントツリー」 ボタンをクリックして「document1」を選択し、テンプレートのプロパティを表示します。



ScriptLanguage プロパティを「CSharp」に設定します。

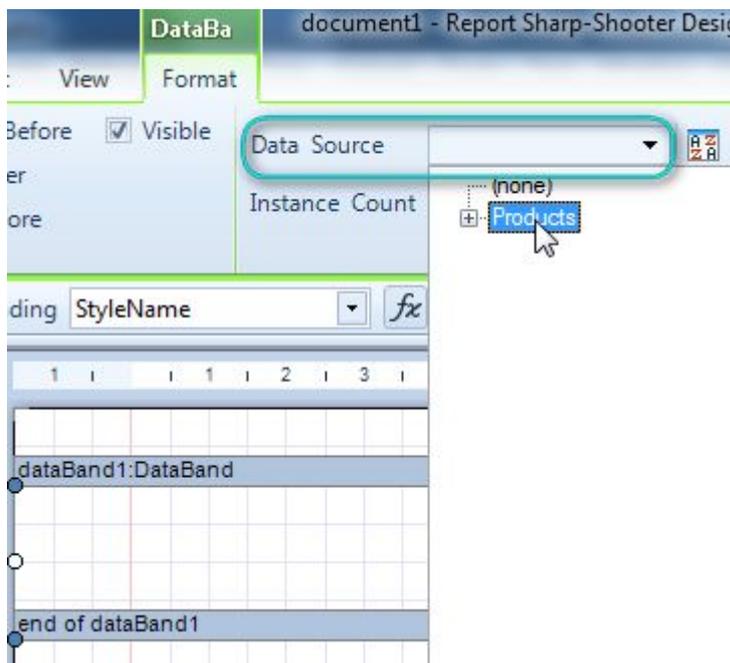


「挿入」タブの「DataBand」ボタンをクリックします。

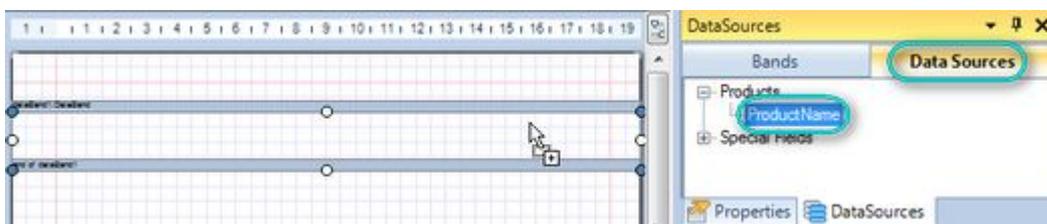


テンプレートをクリックしてデータバンドを追加します。

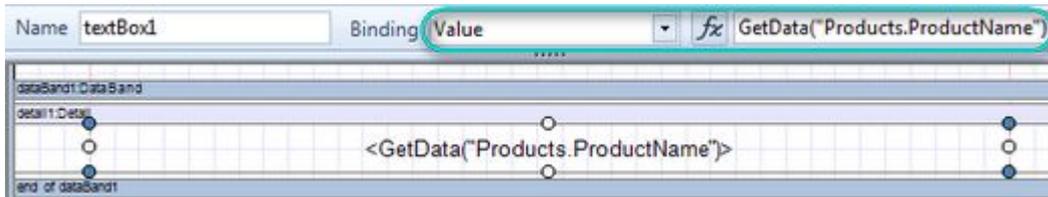
DataBand の「形式」タブに行き、*Data Source* プロパティを「Products」に設定します。



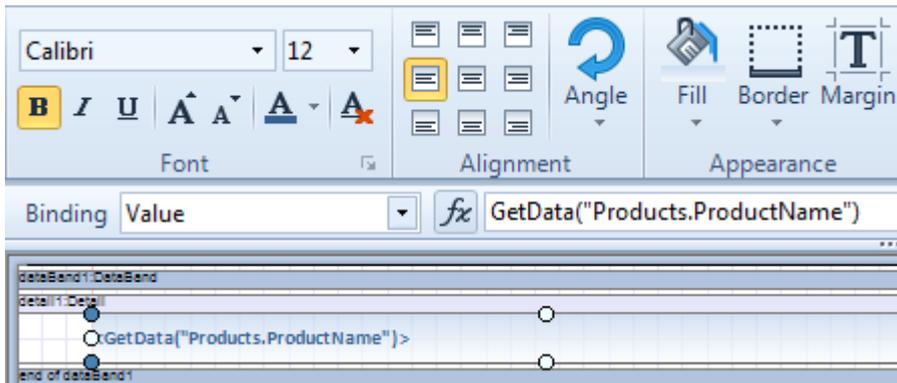
「データソース」ウィンドウの「データソース」セクションに行き、*ProductName* フィールドをドラッグ&ドロップし、データバンドに貼り付けます。



Detail セクションと **TextBox** オブジェクトが自動で作成されます。テキストボックスの **Value** プロパティはデータを読み込むためのスクリプトを格納します。



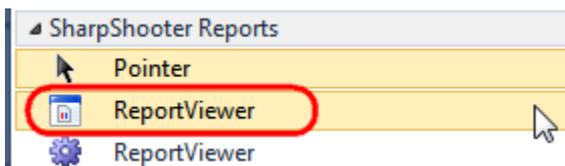
TextBox オブジェクトを選択し、「ホーム」タブのコントロールを使用して、外観のプロパティを設定します。



テンプレートを保存し、レポートデザイナーを閉じます。「OK」ボタンを押して、レポートマネージャのエディタを閉じます。

手順 4. レポートビューアの追加

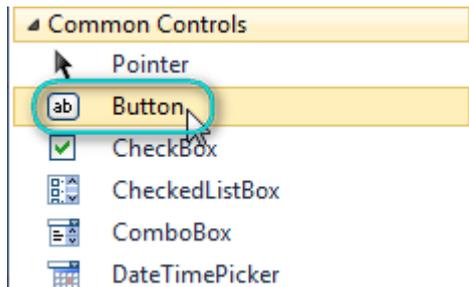
生成されたレポートを表示するために、ツールボックスから **ReportViewer** コンポーネントを追加します。



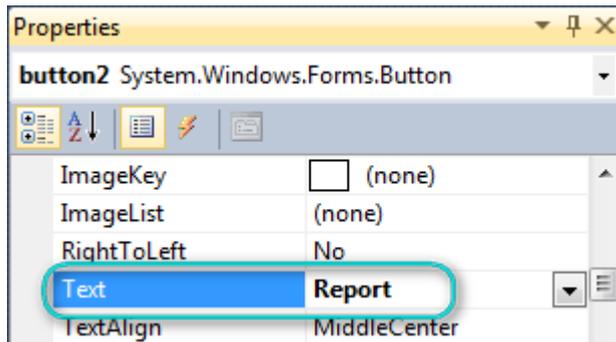
クラスのコンストラクタに、データの読み込みメソッドやレポート生成メソッドの呼び出し、ビューアの **Source** プロパティを初期化するコードを追加します。

```
public Form1()
{
    InitializeComponent();
    LoadData();
    inlineReportSlot1.RenderDocument();
    reportViewer1.Source = inlineReportSlot1;
}
```

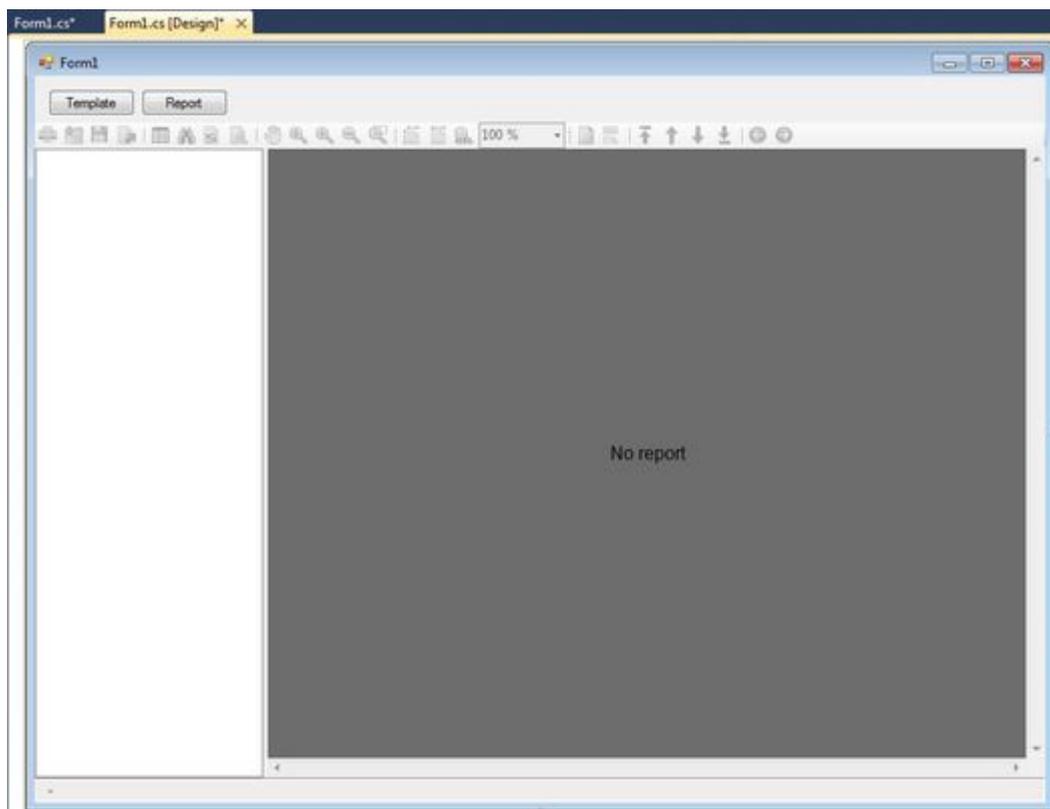
(ツールボックスから **Button** コンポーネントをドラッグ&ドロップして) フォームにボタンを 2 つ貼り付けます。



フォームに張り付けたボタンを選択し、プロパティグリッドで 1 つ目のボタンの **Text** プロパティには「**レポート**」を、もう 1 つには「**テンプレート**」を設定します。



フォームのオブジェクトの位置を変更します。



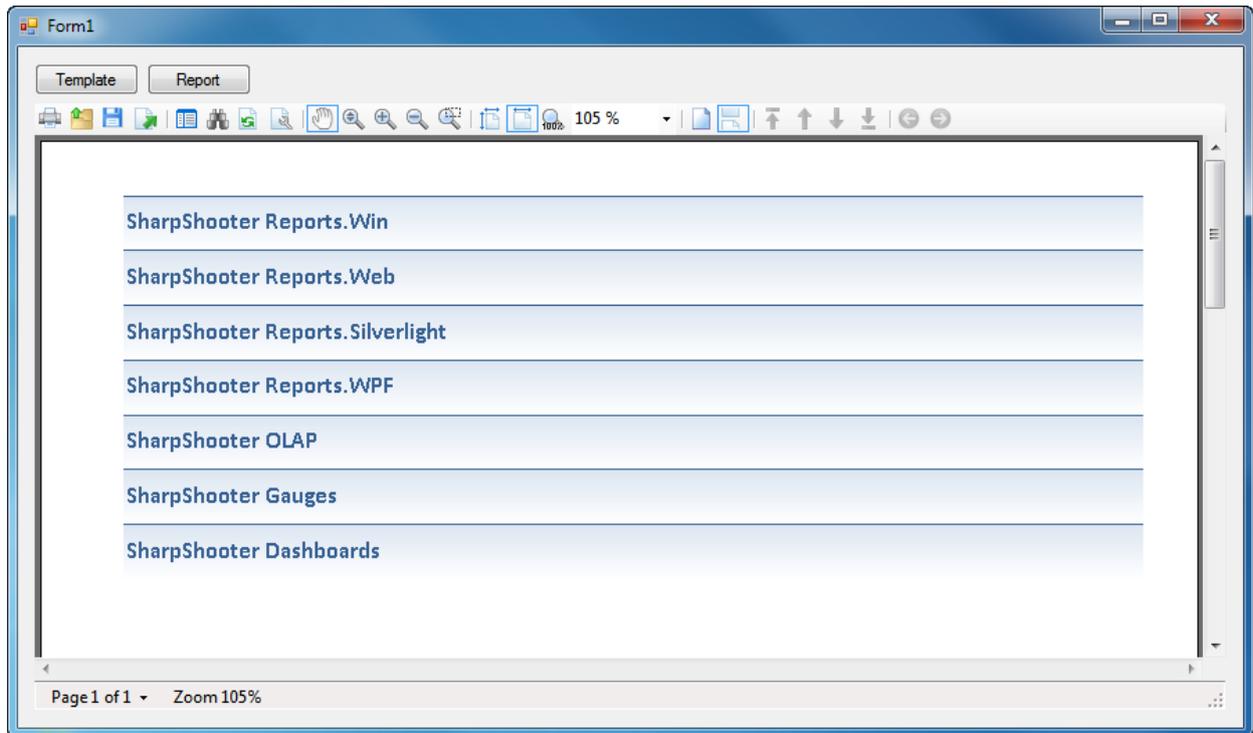
ボタンをダブルクリックして、ボタンの **Click** イベントハンドラを作成します。次のコードを使用して、イベントハンドラにレポートの生成を開始するコードを追加します。

```
private void button1_Click(object sender, EventArgs e)
{
    inlineReportSlot1.DesignTemplate();
}
```



```
}  
  
private void button2_Click(object sender, EventArgs e)  
{  
    inlineReportSlot1.RenderDocument();  
    reportViewer1.Source = inlineReportSlot1;  
}  
}
```

Visual Studio のツールバーにある「デバッグ開始」ボタンをクリックしてアプリケーションを実行します。



手順 5. ライセンス ファイルの編集

プロジェクトにライセンス情報が含まれているか確認してください。それには、`license.licx` ファイルを開いて、アプリケーションで使用されているライセンス認証済のコンポーネント一覧がなければなりません。

アプリケーションにコンポーネントが追加されると、`ReportManager` や `ReportViewer` コンポーネントの情報が自動的にライセンスファイルに追加されます。

作成されたアプリケーションは、テンプレートを作成するための「エンドユーザーデザイナー」を提供します（「テンプレート」ボタンが `DesignTemplate()` メソッドを呼び出します）。`licenses.licx` ファイルに `ReportDesigner` コンポーネントの情報を追加しておく必要があるのはそのためです。この方法は 2 つあります。

1. ツールボックスの `ReportDesigner` コンポーネントをフォームに追加すると、コンポーネント情報がライセンスファイルに自動的に追加されます。その後、レポートデザイナーをフォームから削除できます。
2. 手動でレポートデザイナーの情報を記述する。

```
PerpetuumSoft.Reporting.Designer.ReportDesigner, PerpetuumSoft.Reporting,  
Version=< Version>, Culture=neutral, PublicKeyToken=<Key Token>
```

